

事業概要【"ご縁も、美肌も、しまねから。"～新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり～】

申請者	島根県ほか3自治体					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,579,751千円 (401,327千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・「ご縁も、美肌も、しまねから。」をキーワードに観光コンテンツの磨き上げと情報発信を行い、「美肌県しまね」の認知度拡大と観光誘客を進めることにより、「新たな魅力で人を呼び込む観光地域づくり」を実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○島根県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美肌モデル事業の造成・販売支援（委託料・補助金）6,750千円 ・旅行会社や交通機関と連携した誘客推進（委託料・補助金）73,400千円 ・情報発信、メディアプロモート（委託料・補助金）224,850千円 <p>○松江市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客推進事業：松江が誇る歴史と癒しのコンテンツのプロモーション強化（委託料・補助金・負担金）85,000千円 <p>○安来市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな美肌コンテンツの磨き上げ等：エリアブランドの強化（委託料）4,000千円 <p>○浜田市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美肌観光推進事業：美肌をキーワードとした一体性とストーリー性の確立（委託料・補助金）7,327千円 					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>事業の実施に当たっては、必要に応じて関係団体からの意見を個別に聴取し、観光協会や各市町村と連携して事業を展開する。 大学と連携し、事業実施中に、学生の意見を提供してもらう。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光消費額（+504億円） ②観光入込客延べ数（+10,136千人） ③宿泊客延べ数（+952千人） ④「美肌県しまね」の観光認知度（+6.2%）</p>

事業概要【縁結びからはじまる、しまねの応援プロジェクト～笑顔あふれる結婚・子育て・働き方支援～】

申請者	島根県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	194,058千円 (38,680千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚を希望する独身の方へのお引き合わせ支援などにより、結婚の希望を叶える環境づくりを図る ・しまね縁結びサポートセンターへの相談登録者等を増やし、マッチング機会の提供を図る ・社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図る ・企業等のワークライフバランスの取組を支援し、子育てをしながら働き続けやすい職場環境の実現を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の結婚支援事業を支援 ・市町村結婚支援強化交付金 7,000千円 ・民間イベント補助金 3,412千円 ○子育て支援サービスを提供する「協賛店」の登録促進 ・店舗訪問等による登録促進（委託料）1,620千円 ○女性の希望する働き方を支援 ・スキルアップセミナー開催経費（委託料）3,819千円 ○ワークライフバランスを実現させる取組を支援 ・男性の家事・育児参加促進 3,729千円 ・イクボスセミナー、イクボスネットワーク企業交流会の開催経費（委託料）8,414千円 <div style="text-align: center;">  <p>一般社団法人 しまね縁結び サポートセンター SHIMANE ENMUSUBI SUPPORT CENTER</p>  <p>しまね子育て応援バスケット こころ こころ カンパニー</p> </div>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①「しまね縁結びサポートセンター」を通じた婚姻数（+385組） ②結婚を希望する「はぴこ」利用申込者及び「しまこ」会員数（+280人） ③こころ事業の協賛店舗数（+200店） ④こころカンパニー認定企業数（+210社） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） ○ https://www.pref.shimane.lg.jp/kodomo_kosodate/ ○ https://www.pref.shimane.lg.jp/josei_katsuyaku/ （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/56kaihatushinngikai.html

事業概要【しまねのチカラ！ 組織連携による地域の自立性向上プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	島根県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	673,521千円 (70,160千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	地域運営組織の運営の維持が難しい地域において、担い手の確保や、複数の公民館エリアにおける連携、自主財源の確保により、構造的な課題を解決し、地域運営組織の持続につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○複数の公民館エリアにおける機能の分担や集約など、より広い範囲での取組への支援を開始し、モデルとなる地区を構築し、広く県内に波及させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場支援（人件費、会場使用料等） 20,962千円 ・情報発信（委託費、集落単位での人口推計機能を備えたHP構築等） 14,198千円 <p>○地域運営組織が新たに取り組む収益事業に対し支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通バス実証運行・実行計画策定経費の支援（補助金） 35,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①生活機能の維持・確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数【当該年度3月時点】（+50エリア） ②生活機能の維持・確保のための実践活動の数【当該年度3月時点】（+125活動） ③地域の実情に応じた生活交通の確保に向けた実行計画を策定する市町村数【当該年度3月時点】（+15市町村） ④担い手不在集落解消数【当該年度4月～3月】（+275集落） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/chusankan/tiisanakyotendukurinokasokuka.html （効果検証） https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/singikai/</p>

事業概要【地域経済を牽引！強くしなやかな食品産業育成プロジェクト】

申請者	島根県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	580,949千円 (160,919千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>地域経済を牽引する企業を育成するため、国内・海外の様々な業種への販路拡大に必要な商品開発・改良等を支援する。また効果的に事業を実施するため、商工団体等の関係機関が連携・伴走支援を行う。</p> <p>これにより、自ら営業・販路開拓・生産拡大を行うことのできる事業者を早急に育成し、原材料供給事業者の売上増や雇用増へつなげ、地域経済の活性化を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○県産原材料を用いて、国内・海外への販路拡大を目指す食品・飲料製造事業者を対象に、商品開発・改良等に係る取組を支援し、地域経済を牽引する企業を育成 42,984千円（補助金等）</p> <p>○県外で開催される展示会での「島根県ブース」の設置やバイヤーを県内に招聘する「島根県産品展示・商談会」の開催等 89,978千円（委託費等）</p> <p>○商談会開催等による海外販路開拓支援 14,067千円（委託費等）</p> <p>○海外展開戦略策定支援、商談セミナー等による人材育成支援 2,344千円（補助金）</p> <p>○海外ECサイト等での情報発信・効果測定 7,646千円（委託費等）</p> <p>○海外向け展示会の拡充 3,900千円（委託費等）</p>					  <p>県外展示会での「島根県ブース」の設置 「島根県産品・展示商談会」の開催</p>  <p>Webカタログを通じた県産品県産品拡大</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>事業の実施に当たっては、必要に応じて関係団体からの意見を個別に聴取し、物産協会と連携して、事業を実施する。</p> <p>政策金融公庫と連携し、金融の視点から、事業計画のアドバイスを実施してもらう。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①雇用の増加（+884人）</p> <p>②付加価値額の増加（+8億2,100万円）</p> <p>③県産原材料の調達額の増加（+4億円）</p> <p>④加工食品等の輸出実績額（+15億900万円）</p>

事業概要【若者の県内就職促進プロジェクト】

申請者	島根県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	995,707千円 (207,256千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・島根で育った若者が島根で働けるよう、高校、専修学校、高専、県内外の大学等と連携し、高校生や県内外に進学した学生の県内就職を促進する。 ・若者の県外流出による人口減少、県内企業の人材不足へ対応を図る。 ・地域 I T 人材の育成・確保を図る。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生向け <ul style="list-style-type: none"> ・高校生と企業との交流会や教員や保護者等を対象にしたセミナー等の開催等（委託費等） 43,109千円 ○県内大学生等向け <ul style="list-style-type: none"> ・県内高等教育機関と連携して実施する低学年向け企業交流会や就活生向け企業説明会の開催経費等（委託費等） 47,090千円 ○県外大学生等の県内就職促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県外で低学年次からの支援を行う学生就職アドバイザーの配置や合同企業説明会の開催経費等（委託費等） 70,068千円 ○地域 I T 人材育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・県内各学校で行う授業の企画運営経費や学生と I T 企業との交流イベント開催経費（委託費等） 46,989千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>事業の実施に当たっては、必要に応じて関係団体からの意見を個別に聴取し、関係団体や各市町村と連携して事業を展開する。 メディアや県内大学と連携し、地元で働く魅力の発信を行い、県内学生の県内就職を促進する。</p>					<p>KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内大学等の県内就職率（+5.5%） ②県外4年制大学の島根県出身者の県内就職率（+2.0%） ③高校卒業時の県内就職率（+7.1%） ④県内教育機関から県内 I T 企業への就職者数（+70人）

事業概要【産官学で連携した島根を創る人づくりプロジェクト～育成・還流・定着～】

申請者	島根県ほか17自治体				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,369,013千円 (446,183千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 産学官や地域が連携して若者の県内定着につながる環境を整えることで、若者がふるさと島根に定着し、産業や企業の担い手として、また地域の生活を維持するための担い手として活躍する人材になることを目指す。 県内企業の魅力向上及び採用力強化を図ることで、若者に選ばれる企業づくりを促進し、県内定着（「還流」）につなげる。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ol style="list-style-type: none"> 島根と関わる機会創出の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する県出身者との継続的な関わりの創出を担う コーディネーターの配置（人件費、委託料等） 102,103千円 都市圏でのUターン関心層に向けたイベント開催（補助費） 16,124千円 県内企業の採用力強化 <ul style="list-style-type: none"> 採用活動の改善に取り組む企業を支援（委託料等） 13,250千円 魅力あるインターンシップに取り組む企業を支援（補助費等） 5,500千円 就職マッチングの強化 <ul style="list-style-type: none"> 都市圏での県内求人情報等の発信（補助費） 48,000千円 都市圏で県出身者と県内企業を結び付ける交流イベントの開催（補助費） 15,820千円 無料職業紹介システムの機能拡張（補助費） 14,750千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>県出身者と継続的に関わり続けられる体制を構築するなど、市町村と連携して各種施策を展開する。</p> <p>県内就職率の増加につながる施策を島根大学、島根県立大学と連携して実施する。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> 20代のUターン者数（+25人） 首都圏・関西圏における学生及び若手社会人のコミュニティ参加人数（+25人） 県内企業の採用計画人数の充足率（+9.8%） 短期仕事体験の受入企業数（+8社） 県外の移住相談窓口における相談者数（+105人） 無料職業紹介システムを介した県内就職者数（+10人）

事業概要【中山間地域において安心して暮らせる生活環境の創生】

申請者	島根県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	606,624千円 (192,624千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>中山間地域において、地域住民がこれからも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、必要な生活機能・サービスの維持・確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館エリアを基本として住民同士の話し合いを通じて地域運営（生活機能）の仕組みをつくる ・旧市町村を基本として行政がより関与しながら生活交通や商店など日常生活に必要な機能を維持・確保する 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳は R7年度事業費	<p>○<u>公民館エリアを基本とする住民主体による地域運営の仕組みづくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営組織による実践活動の継続・充実等に向けた支援 (補助金) 32,332千円 (勉強会・交流会) 7,745千円 ・地域運営を担う人材の育成・確保 (研修会・アドバイザー派遣) 12,562千円 ・地域運営組織等の収入源確保に向けた研修会開催や設備整備支援 (研修会・アドバイザー派遣) 33,736千円 (補助金) 17,500千円 <p>○<u>旧市町村を基本とする行政がより関与して生活機能を確保する対策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が実施する商店の存続支援 (補助金) 48,000千円 ・交通事業者の人材確保に向けた採用力向上セミナー開催や職場環境改善支援、採用後の人材育成支援 (セミナー) 2,600千円 (補助金) 33,350千円 <p>○<u>地域の商店存続に向けた取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での消費拡大に向けた普及啓発 (委託料) 4,799千円 				<p>生活機能・サービスの維持・確保</p>   	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域商店や近隣エリアのスーパーや地域の生活交通事業者など、個別事業者の参画や意見を反映した上で、小さな拠点づくりに取り組む。</p> <p>市町村が各地域の日常生活に必要な機能を維持・確保するために必要と判断した取組について、県としても支援する。また、市町村が任命する集落支援員が、県のアドバイザー支援等を活用し、より細やかに地域運営組織の取組を支援する。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①中山間地域の社会増減 (0) ②生活機能の維持。確保のための実践活動に取り組んでいる公民館エリア数 (+9エリア) ③人材育成研修の受講により地域運営を担う意志を持った人数 (+90人) ④県補助金を活用する路線バス等の人口1人当たり年間利用回数 (0) ⑤県の支援により商品化につながった特産品数 (+45個)

事業概要【集積産業を中心とした県内製造業の成長性強化】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,016,812千円 (355,604千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内従業員数の約1割を占める、ものづくり産業の雇用先と所得を増やし、島根に残る若い人を増やす。 ・県内集積産業が抱える課題を中心に、県内ものづくり企業が抱える諸課題に対しても解決に向けた取組を支援することで、ものづくり産業全体の課題解決を図り、ものづくり産業の振興を進めて活力を高める。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○「特殊鋼・鋳物」を中心としたものづくり企業の人材確保・成長性強化に向けた取組支援事業</p> <p>・事業費 130,802千円</p> <p>○石州瓦の販路拡大や産地全体の維持拡大に向けた取組み、技術支援事業</p> <p>・事業費 47,000千円</p> <p>【施設整備・事業設備・備品経費】</p> <p>○「特殊鋼・鋳物関連産業」における製造現場の暑熱対策事業</p> <p>・事業費 147,802千円</p> <p>○「石州瓦産業」等における生産性向上に係る設備導入支援事業</p> <p>・事業費 30,000千円</p>					<p>戦略</p> <p>県内ものづくり企業共通</p> <p>専門家の伴走支援やセミナー等の開催による企業の成長を後押し</p> <p>営業代行、展示会出展等による販路拡大による企業の成長を後押し</p> <p>特殊鋼・鋳物産業</p> <p>職場環境(暑熱対策)改善による人材確保</p> <p>石州瓦産業</p> <p>販路開拓や生産性向上、新事業創出による産業全体の維持と拡大</p> <p>将来像</p> <p>県内ものづくり企業の…</p> <p>生産性向上</p> <p>新事業創出</p> <p>売上拡大</p> <p>販路開拓</p> <p>人材確保</p> <p>雇用創出</p> <p>力強い地域産業</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>石州瓦工業組合と共同で販路開拓などの利用促進の取組や石州瓦製造に係る共同研究を実施する。</p> <p>市町村と共同で販路開拓を実施する。</p> <p>関係市町村と連携し県内企業の戦略構築を支援する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における新規雇用者数 (+600人)</p> <p>②製造業における従業員1人あたり年間付加価値額 (+173.83万円)</p> <p>※R9年度: 1276.63万円を目標とする</p> <p>③デジタル化またはDXに向けたデジタル技術導入の件数 (+184件)</p>

事業概要【労働生産性向上プロジェクト】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,079,670千円 (359,890千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻な人手不足に対応するため、現場改善や新たな仕組み構築等といった生産性向上の取組を支援する。 ・併せて生産性向上により得た成果を事業者が確保できるよう価格転嫁の取組を支援する。 ・これらを通じて県内事業者の稼ぐ力を強化し、県全体の発展・振興を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題整理・現場改善のための専門家派遣 36,000千円 ○生産性向上に向けたデジタル化支援 18,600千円 ○島根県産業技術センターからの技術指導による人材育成 21,535千円 ○コンソーシアムによるデジタル技術の導入支援 25,000千円 ○事業継続力強化アドバイザーによる適正な価格転嫁の促進 78,810千円 <p>【施設整備・事業設備・備品経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設備投資支援 179,945千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>事業の実施に当たって、必要に応じて関係団体からの意見を個別に聴取し、事業の実行に必要な情報の提供を求める。</p> <p>県内金融機関と連携し、必要に応じた企業への資金提供等による支援を実施する。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における人口一人当たりの労働生産性 (+300万円) ②事業者の営業利益増加額 (+1,500万円) ③DX化に取り組んだ企業数 (+60社)

事業概要【農林水産業活性化事業】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	625,185千円 (208,395千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある生産者が将来を見据えて安心して就業できる環境を整備することにより、担い手が継続的に参入する持続的な農林水産業の維持・発展を目指す。 ・生産者に対して、収益性や労働生産性の向上を目的として、新技術等の導入を支援することにより、意欲を持ちながら安定した経営が継続できる仕組みづくりの構築を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○地域の基盤崩壊を防ぎ、次世代を支える人材の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域での担い手確保・営農維持の体制づくり支援 3,500千円 ・集落営農次世代人材受入、後継者確保支援 3,350千円 ・新規漁業就業希望者受け入れ環境整備事業 2,800千円 <p>○継続経営が可能な収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工・業務用向け契約取引促進事業 3,600千円 ・有機農業へのチャレンジ支援 10,800千円 ・地域主導型産地創生支援事業 46,000千円 <p>○技術導入による生産性向上と経営改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域での農地維持のための機械等整備支援 52,525千円 ・中規模農業者による農地維持のための機械等整備支援 24,000千円 ・原木生産新技術等導入促進事業 40,800千円 ・省力化投資支援事業 21,020千円 					 <p>集落営農の1ターンオペレーターによる除草作業</p>	 <p>産地化が進む県オリジナルぶどう品種「神紅」</p>
地域の多様な 主体の参画	<p>事業の実施に当たっては、必要に応じて農業協同組合・森林組合連合会、漁業協同組合からの意見・評価を個別に聴取し、事業の計画・実施へフィードバックする。</p> <p>市町村と共同で産地の創生・拡大を実施する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産業における新規就業者数 (+790人) ②広域での担い手確保・営農維持の体制構築数 (+58地区) ③主伐における労働生産性 (+2.02m³/人・日) ④水田園芸県推進6品目の取組面積 (+165ha)

事業概要【しまねが誇る伝統工芸・伝統文化活性化事業】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	142,935千円 (47,645千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品の競争力を強化し、その魅力を県内外へ発信することで、売上額の増加を図る ・伝統工芸品を観光資源として位置づけ、観光消費額の増加につなげ、文化・観光・経済の好循環を生み出す 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○売れる商品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の伝統工芸品製造事業者等が、ブランディングから商品開発・ブラッシュアップ、商品提案方法までを通して学び、主体的に販路開拓を行えるようにするための支援体制を構築 13,700千円（委託費） ・伝統工芸品の販売を行っている（一財）島根県物産協会が運営するECサイトの強化を図りPRを実施 3,000千円（委託費） <p>○日比谷しまね館調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまね館の在り方を検討するための調査研究を実施 3,468千円（委託費） <p>○未来へつなぐ工芸品総合振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の伝統工芸品等の商談会への出展及び専門家の招聘の取組への支援 5,965千円（補助金） ・伝統的工芸品展に伝統的工芸品製造事業者が出展する島根ブースを設けることで、首都圏等へのPRを実施 1,043千円（委託費） ・事業拡大に伴う、専任の職員を配置 3,469千円 <p>○外国人観光客誘致推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の伝統文化等に係る地域を巡る団体バスツアーを催行する事業者に対して助成を行う 17,000千円（補助金） 					 <p>伝統的工芸品展の島根県事業者ブース</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>物産協会は、事業実施中において、工芸事業者の実態を踏まえた、事業に関する助言を行う。 県立美術館は、美術的視点から、事業運営についての助言を行う。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（外国人）（+27.1億円） ②日比谷しまね館の売上額（+3億円） ③ECサイトでの売上額（+22,022千円）



伝統的工芸品展の島根県事業者ブース



（一財）島根県物産協会ECサイト

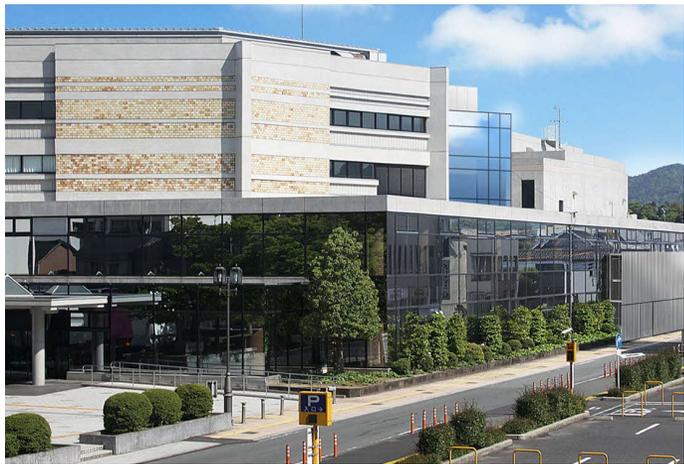


日比谷しまね館

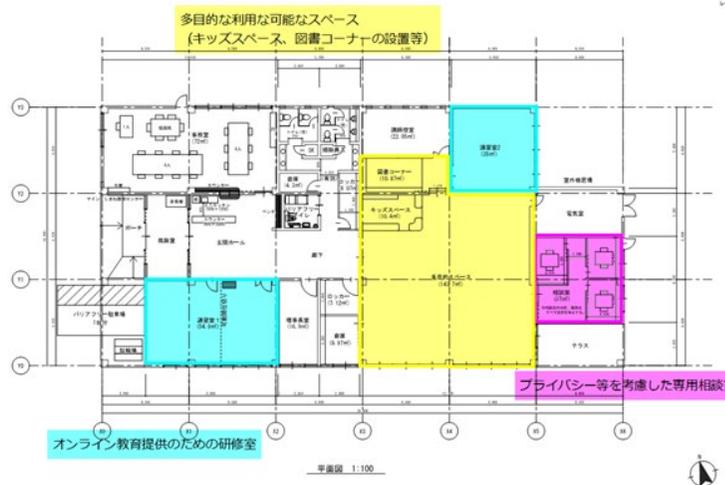
事業概要【関西及び県内のゲートウェイを活用した外国人観光客誘致プロジェクト】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	184,589千円 (80,863千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 島根県に訪れる外国人観光客の約3割が活用している関西国際空港等の主要ゲートウェイを中心として、次の旅行先の選択肢に島根が選ばれるための情報発信及び誘客促進の取組を行う。 県とベトナムの航空会社との間で連携協定を結んだことを発展させ、東南アジア市場へのプロモーションや誘致活動を通じて、観光客増加と国際定期便の就航を目指した取組を行い、新たな観光客の獲得につなげる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○関西主要ゲートウェイ等での訪日外国人向け誘客プロモーション ・観光案内所等と連携した誘客促進 36,000千円（委託費） ・SNS等を活用した来訪計測事業 10,000千円（委託費） ・割引高速バス利用促進プロモーション 7,000千円（委託費） ○県内ゲートウェイの国際定期便就航促進（ベトナム・タイ等） ・東南アジア（ベトナム・タイ等）をターゲットとした誘客プロモーション 8,700千円（委託費） ○国際定期便の就航実現に向けた国際チャーター便運航支援・受入体制確保国際チャーター便運航支援 ・国際チャーター便運航支援 15,000千円（補助費） ・相互交流セミナー、商談会等の開催 3,000千円（委託費） ・国際チャーター便の受入体制 863千円（委託費） ・受入体制の確保に必要な備品整備 300千円（物件費） 					  	
地域の多様な 主体の参画	山陰インバウンド機構や市町村と連携して、PRを実施する。 外国人の方から、事業実施中に、外国人視点での事業に関する情報を提供してもらう。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①外国人宿泊客延べ数（+75千人） ②訪日外国人旅行消費額（+16.7億円） ③国際チャーター便運航回数（+13回）

事業概要【“楽しい”島根創出 島根県民会館リニューアル事業】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,000,000千円 (0千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・設備、機器等の機能拡充を伴う整備工事や館内のバリアフリー化を実施することで、県民文化活動や県外誘客の拠点として施設の魅力を高め、県内外からの集客により地域経済並びに地域観光の好循環につなげていく</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【拠点整備事業経費】 より魅力的な公演の観覧・上演、利用時の快適性向上等を目的に、舞台設備や音響設備の更新、老朽化したホール客席の更新や空調設備の改修、トイレのバリアフリー化等を実施</p> <p>[整備概要]</p> <p>①大・中ホールのリニューアル 舞台機構、客席椅子、舞台照明設備、舞台音響設備、舞台映像設備及び緞帳の更新、舞台床張替</p> <p>②館内空調設備、会議室等音響及び照明器具の更新</p> <p>③トイレのバリアフリー化</p> <p>④楽屋の改修</p> <p>※令和7年度は、ホール内備品等の移転を実施</p>					<p>島根県民会館</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>当該施設の管理運営を行う指定管理者とともに、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会の提供や文化事業を企画・実施する。 大学と連携し、将来の文化芸術の担い手を育成することや芸術鑑賞能力の向上に繋がる学習機会を確保する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①島根観光消費額 (+407億円)</p> <p>②島根県民会館入館者数(+43,484人)</p> <p>③県民文化祭出品者延べ人数 (+388人)</p>

事業概要【外国人の受入れ・共生事業】

申請者	島根県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	164,743千円 (164,743千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・島根県内の外国人住民の増加・定住化を踏まえ、外国人の受入れ環境や生活支援の取組を拡充するため、新たに多文化共生推進拠点施設を整備し、外国人住民向け相談体制や日本語教育環境を充実</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>増加、多国籍化する外国人に対する対応を拡充するため、県の未使用施設を改修し、多文化共生推進拠点施設を整備 (整備内容) 多様化・複雑化する外国人からの相談対応や、オンライン型日本語教室を実施するための環境を整備し、多文化共生推進の取組を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建築工事費 99,978千円 ● プライバシー等に考慮した専用相談室、オンライン教育提供のための研修室、多目的な利用が可能なスペースを整備 ● キッズスペース、図書コーナーの設置、トイレ等のバリアフリー化 ● 電気、給排水、空調設備整備 ● 電気設備工事 34,854千円 ● 機械設備工事 29,911千円 					<p>【改修後施設イメージ】</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>市町村関係部局、外国人支援団体や外国人支援ボランティアとは、連絡会議の開催や意見交換等により、地域の外国人住民の状況や、地域における取組の状況等について情報共有を行うとともに、課題に対する対応立案につなげる。県からしまね国際センターへの委託事業については、年間を通じて進捗状況を確認し、改善に向けた意見交換等を行う。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①年間UIターン者数 (+280人) ②オンライン型日本語教室受講者数 (+45人) ③日本語教師数 (+40人) ④外国人住民の支援を行うボランティア登録者数 (+50人)</p>

事業概要【MATSUE起業エコシステム推進事業】

旧制度（推進）

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,666千円（13,333千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	若い世代が「成長することができる」「仲間や人脈ができる」「ノウハウや資金を得られる」社会システム、即ち「若い世代の挑戦から実現に至るまでの成長過程をオーダーメイドでデザインし、そのデザインを地域の産官学金機関が互いのノウハウや資源を提供しあいながら実現まで伴走する『MATSUE起業エコシステム』」の形成を通じて、若い世代の「松江に住みたい・戻りたい」「松江を選ぶ」につなげ、地方創生を実現する。			
事業概要・ 主な経費	<p>「MATSUE起業エコシステム」形成のため、支援機関、行政、教育機関、金融機関等で組織する「MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」を設立する。コンソーシアム内に起業や新ビジネス創出のパブリックコミュニティ「MIX（ミック）」を設置し、コミュニティ運営、起業等相談支援、支援機関研修などを行う。また高校生・大学生向けに起業・新ビジネス創出体験プログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンソーシアム運営経費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、借上料、手数料233千円 ○コミュニティ運営 <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営（委託料、講師謝金など）6,000千円 ○起業等相談支援・事業化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営（委託料）3,000千円 ○アントレプレナーシップ教育 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施支援（補助金）3,500千円 ○プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・企画制作（企画制作費・広告料など）600千円 	 <p>アントレプレナーシップ教育</p>  <p>事業化支援</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業で実現した起業等の事業化件数（+17件） ②本事業で実施した起業等イベントの参加人数（+1,400人） ③本事業で行った起業等の相談・支援件数（+700件） ④本事業で実施したアントレプレナーシップ教育への参加人数（+80人） 	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://mix-matsue.jp/</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/8/8885.html</p>	
※経費内訳はR7年度事業費				
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値				

事業概要【Ruby City MATSUE 2.0推進事業】

旧制度（推進）

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	32,390千円（7,610千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・IT業界と非IT業界が相互に影響を与えながら成長し、地域経済を牽引していく構造に転換する ・事業づくりをするために必要とする環境を整備し、エンジニア個人や小規模チームなど、より小さな粒度のきめ細かな後押しをする ・地元企業と海外企業等との協業等による事業拡大を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 「事業化支援」「人材育成」「企業誘致」「コミュニティ（の強化）」として、下記事業を実施する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エンジニアと地元事業家によるハッカソン等の実施 ・企画運営（委託料）2,200千円 ○エンジニア本位の事業化機会の提供 ・ビジネスプランコンテスト実行委員会組成・運営（負担金）2,000千円 ○新産業誘致 ・調査事業（委託料）2,200千円 ○プロモーション ・企画制作（委託料・消耗品）1,210千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+55人） ②プロダクトアイデア事業化件数（+8件） ③プロダクトアイデア創出件数（+180件） ④市外スタートアップ等とのコンタクト数（+12件） 		
			<p>【ビジネスプランコンテストの運営】</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.city.matsue.lg.jp/sangyo_bussiness/sangyoshinko/RubyCityMATSUE/index.html (効果検証) https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/8/8885.html</p>
		関連URL	

事業概要【データを活用した地域内マネジメント体制(地域DMO)の確立と観光地域づくり事業】

旧制度 (推進)

申請者	島根県松江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,991千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興によって地域の「稼ぐ力」を引き出すため、データを分析・活用した戦略に基づいて地域の多様な関係者を巻き込みながら一体となって取り組む「舵取り役」となる観光推進組織（日本版DMO）を確立する 日本版DMOが地域のマーケティングを継続的に行い、関係者への情報共有や誘客戦略の立案等を通じて、地域内をマネジメントするとともに地域の観光消費額の最大化を図る 		
事業概要・ 主な経費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>【事業概要】 観光庁の「登録DMO」となった(一社)松江観光協会において、マーケティング実施体制の安定的な運用、マーケティング結果の共有等を通じて新たな誘客戦略の立案・実行に対して支援を行う。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(一社)松江観光協会の組織体制強化(補助金) 10,000千円 ・CMO(最高マーケティング責任者)兼CSO(最高戦略責任者)を担う外部専門人材の継続配置 ○データ分析に基づいた誘客戦略の企画立案・実施(補助金) 9,000千円 ・マーケティング分析等の結果をふまえた効果的な誘客戦略・市内周遊促進の企画・実行 ・市内の宿泊集積エリアにおけるエリアマーケティングの実施 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> </div> </div>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+93億円) ②観光宿泊客数 (+33万人) ③データ分析に基づき企画した誘客戦略の件数 (+5件) ④観光協会における専門人材の採用人数 (+2人) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.matsue.lg.jp/kankobunka_sports/kankojoho/13045.html (効果検証) https://www.city.matsue.lg.jp/gyoseijoho/7/2/7/16143.html</p>

事業概要【官民連携による松江市のインバウンド観光推進による持続可能な地域づくり】

申請者	島根県松江市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	66,967千円 (35,399千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 松江市固有の観光資源に付加価値を持たせ、魅力ある観光コンテンツの情報発信、広域周遊観光商品造成、セールス・販売等を通じ、外国人の誘客を促進し、観光消費額の増加を目指す。 地域の学生と官民が連携し、観光商品開発や職場体験などを行うことで、地域について学ぶこととあわせ、観光事業者の仕事への理解を深め、将来の観光を担う人材育成につなげる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○フランス現地における市長トップセールス（委託料等）15,390千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長による観光セミナーの実施 ・和菓子職人による創作デモンストレーション、和菓子創作・体験のワークショップ実施 <p>○松江市インバウンド推進協議会への負担金（負担金）20,009千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動態分析データを活用したターゲティングプロモーション ・地域考案の観光商品・観光コンテンツの海外販路獲得に向けたセールスプロモーション ・国内旅行博・商談会への参加による周辺地域一体となった周遊コースのセールス活動 ・地元企業と連携したPR実施 ・現地商談会・PRイベントの実施 ・学生と官民との連携による観光商品開発等 					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>官民一体となった協議会において、商品造成・販売、プロモーションを実施し、外国人の誘客を促進する。また、官民と地域の学生が連携し、学生視点による地域資源の発掘や魅力的な観光商品の開発に取り組み、将来の観光を担う人材の育成につなげる。</p> <p>地元住民やボランティアと協力をし、地域と連携した観光商品の造成・販売に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+111億円） ②外国人宿泊客数（+6.36万人） ③観光宿泊客数（+42万人） ④観光入込客数（+147万人） ⑤フランス人宿泊客数（+5,631人）

和菓子創作体験

旅行会社商談会

事業概要【小泉八雲の妻、小泉セツをモデルとしたテレビドラマとゆかりの地域資源を活用した観光振興事業】

申請者	島根県、松江市、海士町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	197,449千円 (137,029千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・国宝松江城、堀川が巡る城下町を有し、暮らしに伝統や文化が息づく佇まいが強みの松江市は「知名度不足」が最大の課題である中、令和7年度放送予定の「小泉八雲の妻、小泉セツをモデルとしたテレビドラマ」は、主な舞台が松江市であることから認知度が高まる絶好の機会。 ・テレビドラマの放送を契機として①おもてなし環境を磨き上げる「受地整備」②県外だけでなく県内の機運も高める「機運醸成・イベント型プロモーション」③お土産品、体験メニュー等の幅広い「観光コンテンツ開発支援」の実施により、観光客の満足度を高めリピーターを生み出す循環をつくり、“世界中から松江に人が集まる”姿を実現し、地域経済の活性化に繋げる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市 <ul style="list-style-type: none"> ・松江歴史館「ばげばげ」関連展示事業 12,695千円(委託料) ・小泉八雲・セツ関連ツアー開催補助 6,167千円(補助金) ・周遊促進シェアサイクル事業 24,260千円(委託料) ・県内機運醸成プロモーション 15,000千円(委託料) ○海士町 <ul style="list-style-type: none"> ・周遊、誘客プロモーション 3,500千円(委託料) ・周遊拠点整備 4,500千円(修繕費) ○島根県 <ul style="list-style-type: none"> ・ドラマ放送を契機としたコンテンツ作成、発信 20,000千円(委託料) ・コンテンツ開発補助、旅行会社ツアー造成 20,000千円(補助金) 					  	
地域の多様な 主体の参画	<p>松江商工会議所、島根大学、松江市公民館長会など、官民学の多様な主体が連携し、受地整備や機運醸成、誘客プロモーション、顕彰事業などを促進する。</p> <p>山陰中央新報社、山陰ケーブルビジョン、隠岐アイランズメディアなどの報道機関とも連携し、実施事業について効果的な情報発信を行う。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額(島根県) (+100億円) ②観光入込客数(松江市) (+98万人) ③観光宿泊客数(松江市) (+28万人) ④観光消費額(松江市) (+74億円) ⑤観光入込客数(海士町) (+0.2万人)

事業概要【美肌産業の形成による浜田創生】

申請者	島根県浜田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,608,514千円 (433,612千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>全国に誇る美肌資源「美又温泉」(温泉総選挙2024「美肌部門」2年連続1位、学術的・医学的エビデンス取得済)を活用し、「お肌に悩みのある方」や「美容に関心のある方」をターゲットとした「美肌観光」を確立するため拠点施設を整備して交流人口の拡大を図ります。併せて、デジタル技術を活用した「温泉手形」、「美肌倶楽部(仮称)」、「デジタルサイネージ」等を導入し、美肌をキーワードとした「温泉」、「食」、「体験」、「商品」等の有機的連携や、観光消費額の地域内循環を図ることで雇用の創出に取り組みます。以上のように、交流人口の拡大、雇用の創出、地域の活性化を目的とした「美肌産業の形成による浜田創生」を目指します。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業 費</small>	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○拠点施設の整備</p> <p>①日帰り入浴施設(外湯)約1,250㎡ 289,524千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内湯、外湯、サウナ(水風呂に美又温泉使用) ・炭酸風呂(女性:美肌温泉との相乗効果) ・貸切風呂3室(うち身体障がい者用1室、サウナ付き1室) ・有料休憩室2室、無料休憩室1室(デジタルサイネージ設置) <p>②既存建物(S44年築)除却及び駐車場整備等 99,048千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建物除却及び駐車場整備設計業務委託 17,050千円 (民間商業施設用地2区画整備含む) ・進入路及び管路整備設計業務委託 18,000千円 ・進入路整備 53,196千円 ・水道管及び温泉管整備 10,802千円 <p>③デジタル関連設備(デジタル温泉手形等) 44,000千円</p> <p>④効果促進事業(ソフト事業) 1,040千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>拠点施設指定管理者については、地元旅館組合をはじめ、島根県や広島域都市圏協議会等と連携しながら美又温泉活性化における主体的役割を担う。また、デジタル温泉手形の管理運営及び「美肌のまち浜田」推進委員会の事務局を指定管理者が担い、美肌産業形成のためのビッグデータ提供を行う。あわせて、地域金融機関や新聞社、大学等も「美肌のまち浜田」推進委員会に参画することで地域一体となって美肌産業の形成を図る。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①拠点施設整備による観光消費額(+1億5,781万円)</p> <p>②拠点施設利用者数(貸切風呂含む)(+31,220人)</p> <p>③デジタル温泉手形利用者数(市内観光施設等連携人数)(+33,000人)</p> <p>④デジタル温泉手形利用者数(市民割引)(+14,600人)</p> <p>⑤デジタル温泉手形参画事業者数(+130事業者)</p> <p>⑥美肌産業形成による美肌商品創出数(+210商品)</p>

事業概要【「～出雲力で地域と人が輝く～持続可能な観光地域づくり」】

旧制度（推進）

申請者	島根県出雲市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	281,671千円（100,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊滞在・消費促進のため、観光施設情報を整備しGoogleで検索できるようにしたり、二次交通対策を行う。 ・繁閑差をなくすため、365日楽しめる体験コンテンツ等を造成する。 ・ロイヤルカスタマーの獲得や関係人口を増やすため、SNSにより出雲ファンにダイレクトにアプローチする。 ・持続可能な観光地経営を進めるため、マーケティングの強化や機運醸成に努める。 			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周遊滞在・消費環境の整備 ・GBP整備、周遊観光バスツアー造成、シェアサイクル導入など（委託料）18,500千円 ○戦略的コンテンツの充実、高付加価値化 ・「365日楽しめる出雲」の創出など（委託料・負担金）14,600千円 ○個人とつながる情報発信等による出雲ファン獲得 ・様々な媒体を活用した情報発信など（委託料）13,200千円 ○2025大阪・関西万博を見据えた国内外旅行者の誘客 ・効果的なプロモーション、広告配信など（委託料）28,800千円 ○地域の総力戦で臨む観光地経営体制の構築 ・DMOの経営戦略・計画の策定など（委託料）24,900千円 		<p>365日楽しめる出雲 - Izumo365プロジェクト -</p> <p>旅マエ情報整備 SNS運用 コンテンツ造成 四季を通じて楽しめる</p> <p>旅ナカ情報整備 Google Business Profile整備</p> <p>IZUMO 365</p> <p>DX活用 情報発信セミナー 1月30日(水) 13:00-15:30 事業者セミナー デジタル実装</p>	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①宿泊者数（+117,434人） ②外国人宿泊者数（+18,419人） ③観光入込客数（+2,002,489人） ④観光消費額（+11,135百万円） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1584318631258/index.html</p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【（仮称）デジタルスタジオの整備とデジタル人材育成プログラムの実施】

申請者	島根県出雲市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	22,140千円 (8,940千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	市民のデジタルリテラシー向上とデジタル人材の育成を目的に、市内高校およびJR駅からアクセスの良い出雲科学館内に、高性能PC等のデジタル機器を備えた「（仮称）いずもデジタルスタジオ」を整備する。このスタジオでは、世代に応じた各種教室を開設し、STEAM教育の実践の場として活用するとともに、市民と地域企業の交流および世代間交流の拠点としても機能させることで、地域社会におけるデジタル人材の発掘・育成を推進する。					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 出雲科学館内の一室をデジタル人材の育成拠点として改修整備。年代別に各種デジタル講座を開催し、市内IT企業、県内大学から、講師や学生の派遣を受けることにより、市民と地域企業、学生と市内IT企業との交流を図る。市民のデジタルへの関心を深めるとともに、将来の本市を担うデジタル人材を育成し、市内高校生や県内大学生の地元就職促進を図っていく。</p> <p>【ソフト事業経費】4,390千円 スタジオの管理運営及びイベント運営を委託する。 ○施設運営費（11月～3月） ・委託料（事業周知のための情報発信、協力会社、団体、大学、高校との企画調整等） 2,640千円 ・需用費（ソフトウェア関連、消耗品費） 850千円 ○イベント運営費 ・各種教室実施委託料 900千円</p> <p>【施設整備・備品経費】4,550千円 ○施設改修費 電源・LAN配線工事一式 2,850千円 ○備品購入費 テーブル9台、椅子20脚 1,700千円</p>				<p>講座内容 プログラミング教室 eスポーツ教室 デザインツール教室 AR/VR教室 スマホ教室</p> <p>世代間交流</p> <p>デジタルリテラシーの向上</p> <p>デジタル人材の育成</p> <p>就職</p> <p>いずもデジタルスタジオ(仮称)</p> <p>市内IT企業 県立大学 産学官民連携・交流</p>	
地域の多様な 主体の参画	市内IT企業からの講師派遣等により、イベント・教室の充実を図る。また、県内大学との連携協定を活用し、事業への知見の提供と学生の参加を受け、活用実績の向上を図る。参加者へアンケート等を行い、利用者目線で意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内企業就職者数（+195人） ②デジタル人材育成プログラム参加者数（+3,700人） ③世代間イベント開催回数（+16回） ④ソフト系IT企業従事者数（+60人）

事業概要【出雲市シティプロモーション事業】

申請者	島根県出雲市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	58,250千円 (16,250千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・アウトプロモーションとインナープロモーションを両輪とする新たなシティプロモーションを展開し、市民の郷土愛や誇り、シビックプライドの醸成や観光客や出雲ファンとの接点を活用した移住PRを行うことで、若年層を中心に人口流出を抑制し、都市部からのUIターンの促進を図る。</p> <p>・「出雲で働きたい若者」を増やし、「労働力不足」を解消していくため、多様な主体と連携した地域課題解決に向けた取組や、市民一人ひとりが、自分たちの住む地域に誇りを持ち、地域活動への参加意欲を高め、地域を活性化させるまちづくりを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>■ 出雲市シティプロモーション戦略策定支援業務 分析・調査・戦略策定、施策立案 事業費 8,000千円</p> <p>■ プロモーション民間専門職起用事業 事業費 8,250千円 (令和7年7月～3月)</p>					<p>出雲市シティプロモーション事業</p> <p>インナープロモーション (愛着、誇り) / アウタープロモーション (魅力、認知)</p> <p>市民の参画 / NPO法人など多様な主体と連携</p> <p>1年目: 新たなシティプロモーション戦略の策定 / 2年目～: 新たな事業・イベントの実施・情報発信</p> <p>1～3年目: 民間専門職によるアドバイザーや業務支援</p> <p>若者の県外流出抑制 / 産業の担い手確保 / 移住定住の促進</p> <p>「出雲市」への人の流れの創出</p>	
地域の多様な 主体の参画	産学労官等、地域の多様な主体が本市の様々な強みや魅力の発信、市民のまちへの愛着や誇りの醸成等に携わり、本市のシティプロモーションを推進していく。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①人口の社会増(転入者数－転出者数) (+1,200人)</p> <p>②出雲に愛着や魅力・誇りを感じる高校生の割合 (+3.1%)</p> <p>③学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内就職数(+31人)</p> <p>④市、雇用推進協議会就職支援事業参加者のうち市内就職者率(+10%)</p> <p>⑤市への相談や補助金等の利用により定住に結びついたUIターン件数(+12件)</p> <p>⑥企業版ふるさと納税寄附額(+26,670千円)</p>

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,788千円 (6,357千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市が誇る豊かな食、観光資源を活用した商品開発や販路拡大を支援し、地域経済の活性化を図る。 ・山陰道の全線開通に向け、大田市の魅力発信を強化することで、市内への周遊を図る。 ・ECサイトを活用した生産者の新たな販路拡大を支援し、持続的かつ安定的な収益及び販路の確保を図る。 ・当該事業で開発した商品や重点推進品目のブランディングを行うことで事業者（生産者）のノウハウ向上を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>大田市の豊かな地域資源</p>  <p>○市内事業者の地域資源を活用した商品開発や商品の販路拡大に取組む経費を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発等への取組みに対する支援（補助金） 5,100千円 ・有識者審査会開催経費（謝金、費用弁償、需用費） 257千円 ○ECサイトの運営や市内事業者のブランディングに関する経費（委託料） ・運営費 500千円 ・ECサイト登録に向けたサポート経費 250千円 ・重点推進品目のブランディング支援経費 250千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">大田市の魅力発信</div> <div style="text-align: center;"> <p>商品開発支援</p> <p>↓</p> <p>ECサイトを活用した販路拡大</p> <p>↓</p> <p>大田市への周遊促進(外貨の獲得)、地域活性化</p> </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">事業者(生産者)の持続的な成長・発展</div> </div>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①農林水産出荷額（+12百万円） ②ECサイト販売金額（+9,000千円） ③県外向け商品開発・販売企業（+15社） ④道の駅市内事業者取扱商品の割合（+2.5割） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	https://www.city.oda.lg.jp/ohda-city/city_organization/25b/4799/316/19443

事業概要【大田の未来を切り拓く人財の育成・確保促進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	島根県大田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,180千円（1,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	行政・産業団体・学校・企業等で構成される「大田地域人材確保促進協議会」等との密接な協力関係を活かす中で、若年層の移住・定住の前提条件となる地元企業への就職促進に取り組み、結婚・出産へとつなげ人口減少を抑制することで、地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	<p>UIターン就職促進事業（大田地域人材確保促進協議会への委託 1,500千円）</p> <p>①「大田市版キッズニア」 市内小学生、中学生及びその保護者に対し、市内企業の魅力を早期から認知してもらうことを目的とする。 市内企業の体験ブース増加および体験内容の充実を図る。 イベント開催経費：500千円（会場使用料、消耗品費）</p> <p>②「おおだ学生応援隊」の委嘱及び学生主催の就職イベントの実施 企業情報と就職イベントの集客を担当する「おおだ学生応援隊」を追加委嘱、「おおだ学生アンバサダー」による市内就職イベントの企画・実施 イベント開催経費：200千円（会場使用料、消耗品費）</p> <p>③市内企業の情報発信強化 市内企業と連携を図り、大田地域人材確保促進協議会が主催する県外就職イベントを実施する。 （想定場所：広島県） 県外イベント開催経費：500千円（会場使用料、消耗品費）</p> <p>④オープン企業の実施 高校生が夏休み等の長期休暇の際に、高校生（市外の高校含む）及び保護者が市内企業を見学することができるオープン企業（オープンキャンパスの企業版）制度を大田地域人材確保促進協議会において実施する。 実施に係る企業募集チラシの印刷経費：300千円（市内外高校3校×100千円）（印刷製本費、消耗品費）</p>		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<p>①地域へのUIJターン者数（+15人）</p> <p>②就職イベントへの市内企業の平均参加率（+30.0%）</p> <p>③市内高校生とその保護者の市内企業を10社以上知っている割合（+15.0%）</p> <p>④市内高校生の就職者数の内、市内就職率（+9.0%）</p>		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.oda.lg.jp/ohda/city/city_organization/25b/4799/316/19443	

事業概要【地域と都市が共創するTaMaRiBaづくりプロジェクト～新たな関係人口の創造～】

旧制度（推進）

申請者	島根県江津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	154,843千円 (63,099千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	新たに地域での取組みを担う一員として、関係人口や交流人口の流入を促進し、当該人材と地域が共創し、創造的な取組みの実践の場づくりを行政がバックアップを行い、4者（関係人口・交流人口・地域・行政）の取組みにより、地域の賑わいが創出される。併せて本取組みの様子を、在京テレビ局を活用して発信することで、本市の知名度の向上、関係人口及び交流人口の増加が見込まれる。		
事業概要・ 主な経費	<p>○メディア等を活用したシティブロモーション（情報発信）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストプロモーション実施に関連する企業とのマッチング支援（委託費）：3,000千円 ・テストプロモーション（ナイトイベントなど菰沢公園を活用した新規の取組み）の実施（委託費）：12,000千円 ・公園を活用したテストプロモーション実施までの取組みの様子を収録し、本市をPRするための番組配信イベント制作および動画配信サイトへの掲載（委託費）：12,500千円 ・菰沢公園予約・情報サイト開設（委託費）：4,000千円 ・SNSを活用した情報発信の運用（委託費）：2,442千円 ・菰沢公園の施設等に関するパンフレットの作成（委託費）：1,500千円 ・屋外Wi-Fi設備の利用（利用料）：55千円 <p>○公園における新規用途（企業向けアウトドア研修施設）活用導入事業：4,000千円</p> <p>○公園内施設の魅力化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内子供用遊具周辺の休憩施設整備工事（工事請負費）：11,600千円 <p>○菰沢公園内オートキャンプ場の魅力化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場内の個別サイト増設のための測量設計業務の委託料：2,000千円 ・キャンプ場内の個別サイト増設のための工事請負費：8,000千円 ・屋外Wi-Fi設備の構築（工事請負費）：2,002千円 		
KPI	<p>①地域の人口・世帯数（+30人）</p> <p>②菰沢公園キャンプ場の利用者数（+950人）</p> <p>③菰沢公園でのイベント実施回数（+16回）</p> <p>④GOTSU Crewの人数（+25人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.gotsu.lg.jp/</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【地域の脱炭素化を起点とした「GO▶GOTSU！山陰の創造力特区」の実現】

申請者	島根県江津市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	199,500千円 (26,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済活性化を目指し、地域内企業を集めた官民連携プラットフォームを構築し進めることで、地域内の経済循環と可処分所得増加を図る。 地域内経済循環を自律的なものとするため、次世代自動車を使った公道カートレースを実施し、本地域の付加価値向上を狙う。地域外の脱炭素関連企業との連携を行い、地域内に新たな産業創出を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○地域の官民連携プラットフォーム構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの組織化準備（委託料）7,700千円 勉強会、組織を運営する人材探し（委託料）4,400千円 <p>○次世代自動車カートレースの開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車カートレースのPR経費（広告宣伝費）6,000千円 カートレースプレイベントの開催経費（委託料等）5,000千円 カートレース準備のための事務費（会場使用料等）3,400千円 					
地域の多様な主体の参画	<p>地域の脱炭素化を推進し、地域内経済循環を達成するため、商工会議所や地域の電力会社、電気店等、地域内での連携を促進する。</p> <p>島根県や大学、金融機関、労働組合団体、ケーブルテレビ、地域住民などの参画も見込んでおり、地域全体でイベントを活用した地域の付加価値向上を目指す。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+18人） ②市内企業アンケートによる脱炭素の取組みに関心がある企業の割合（+23%） ③連携地域外企業数（+9社） ④官民連携プラットフォーム構築数（+1プラットフォーム） ⑤企業の実証フィールド、地域企業とのイノベーション、新たな基幹産業の創出事業数（+3事業） ⑥カートレースを観光資源ととらえるコミュニティのモデル地区設定数（+2コミュニティ）

事業概要【「えすこな雲南市」の実現に向けた総働チャレンジの推進】

申請者	島根県雲南市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,298,620千円 (609,111千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • みんなが幸せに暮らせる持続可能なまち「えすこな 雲南市」の実現に向け、資金や人材を効果的に取り込みながら「雲南の暮らしの再構築」「雲南を学ぶ・活かす」「雲南ならではの価値創出」に一体的に取り組み、人口減少社会にあっても、地域の持続性を高め、人材の力を最大限に引き出しながら、雲南がもつ価値・魅力をさらに高めていく。これらの成果を相互に循環させ、市民のウェルビーイングの実現をベースに、産業経済への波及、若者や女性が楽しく働き、楽しく暮らせる環境を創出し、人口減の抑制・増加につなげていく。 • 小さな拠点を核として地域をあげて「総働」で推進し、リアルに変わっていく場を多くつくりだすことで、地方創生のインパクトを着実に生み出していく。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○えすこに暮らす「雲南の暮らしの再構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点」による複層的な地方創生推進（交付金）295,643千円 ・共助インフラ補完創出（委託料）41,141千円 <p>○えすこに育む「雲南を学ぶ・活かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な教育活動（キャリア教育2.0）の推進 105,997千円 ・雲南らしさをベースとした学びの創出（謝金）400千円 ・“ほんもの”を活かした観光づくり（補助金）14,256千円 <p>○えすこな人の流れ：関係人口創出（委託料等）818千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性に魅力的な働き場・働き方創出5,500千円 <p>○えすこなお金の流れ：応援性資金の構築（委託料）5,000千円</p> <p>【拠点整備事業経費】○小さな拠点施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体撤去、造成工事等 136,356千円 <p>【インフラ整備事業経費】危険空き家除却事業補助金 4,000千円</p>						
地域の多様な主体の参画	<p>地域自主組織や社会福祉協議会と協働し、住民同士による雲南の暮らしの再構築に取り組み、地域の魅力を再発見するため、小・中学校、高校、大学と地域との連携を促進する。</p> <p>商工会や中間支援組織と多分野・多世代の参画を促してもらい、若者や女性が楽しく働き、暮らせる環境づくりにつなげるとともに、金融機関等と連携し、応援性資金の調達に取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域の定住人口数（転出入数）（+172人） ②地域活動や市民活動に参加している市民の割合（+8.9%） ③将来も雲南市に貢献したいと思う高校生の割合（+7.5%） ④観光消費額（+10.28億円） ⑤UIターン数（+1,011人） ⑥応援性資金の流通総額（+26,000千円）

事業概要【新しい人の流れを核とした産・官・学×地域による雇用創出促進事業】

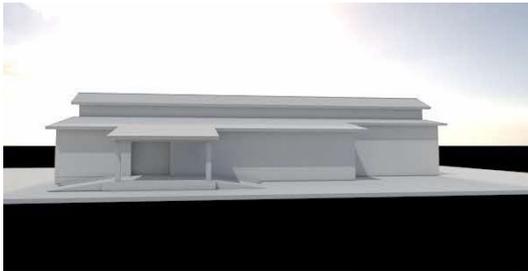
～地方発の正規雇用化&副業促進パッケージの提案による新たな付加価値の呼び込み～

申請者	島根県川本町				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,700千円 (12,200千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「女子野球タウン構想」を契機として若者や女性に選ばれる多様な就業機会を創出する 正規雇用化を伴って新たな付加価値を呼び込み、就業及び産業構造そのものの転換を図る 						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 企業誘致や特定地域づくり事業協同組合等を軸とした新たな雇用環境の創出に取り組むと共に、次代を担う人材の育成に取り組む</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材育成研修カリキュラムの構築 (委託料) 3,800千円 ・企業のニーズをふまえたデジタルスキルを中心とした人材育成カリキュラムの構築 ○ 企業誘致戦略策定 (委託料) 8,400千円 ・企業誘致を目的とした立地環境調査並びに誘致戦略策定 ・誘致候補企業へのマーケティング 						
<p>地域の多様な主体の参画</p>	<p>企業誘致や新たな雇用環境創出に向けて、島根県は広域的な支援を担い、地域おこし協力隊OGや女性団体からは「女性」視点での意見、島根県立大学や島根中央高校からは「学」視点での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。(一社)かわもと暮らしや(株)山陰中央新報社は情報発信を担い、本事業を多くの人や企業と繋ぐ。また(株)山陰合同銀行には事業の自立化に向けて金融面の視点から意見をもらう。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①就業者数 (正規の職員・従業員) (+15人) ②企業群に参画した法人数 (+10社) ③社会増減 (+30人) 	

事業概要【都賀長藤地区コミュニティー拠点施設整備事業】

申請者	島根県美郷町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	474,000千円 (474,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・4地域での子ども・若者を中心にした地域づくりを進めることにより、将来この地域で暮らす（帰ってくる）動機を高める。 ・4つの連合自治会（地域運営組織）が協働し、国外も視野に入れた滞在人口、活動人口の拡大等による地域づくり、人づくりを進めるための拠点を整備し、行政をはじめ地域の各種団体と連携し地域を活性化させる。 ・各4地域にある拠点施設の積極的な修繕、更新を行わず、整備する施設に機能を集中させる事により、財政的な持続可能性を高める。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 ○コミュニティー拠点施設を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民アンケートや検討委員会で出た要望を踏まえた施設機能（延床面積500㎡） ・高齢者や障がい者、子育て世代に配慮したバリアフリー設計 ・施設の多くの部分が災害時には避難所として機能する事を想定した構造 <p>【拠点整備事業経費】 コミュニティー拠点を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 474,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>複数の自治会が広域連携した連合自治会を主軸となり、地元の地域づくり団体や農業法人等と共に、国際ワークキャンプ等の地域外の団体とつながりを持ちながら、滞在人口、活動人口の拡大を図る。</p> <p>主な取り組みとしては地域資源を活用した特産品の開発、「築漁体験」や「雲海」等山や川を利用した観光メニュー開発を進めていく。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①都賀長藤地域の人口(社会増数) (+6人) ②コミュニティー施設の利用者数(+5,000人) ③地域で開催するイベントの外部からのボランティア（国際ワークキャンプ等）の参加者数(+15人) ④子ども会参加者が地域の子どもの総数に占める割合(+90%)

事業概要【津和野町日原地域活動拠点施設整備事業】

申請者	島根県津和野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	477,914千円 (477,914千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致IT企業や高校との協働により、デジタル人材の育成拠点として活用することにより、高校生や若い世代のデジタルスキルの向上を図ることにより、地元IT企業への雇用機会を創出し、生活水準（所得）の向上を目指す。 ・拠点施設を活用し、地域の大人と子どもが様々な活動を通して活発に交流を行うことにより、人の流れを呼び込み、地域の活性化を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○日原地域活動拠点施設を整備</p> <p>・施設整備 477,914千円</p>					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>津和野町総合振興計画等審議会の構成団体を中心に施設の有効活用に向けた協議に参画していただき、ニーズに沿った、利用しやすく交流しやすい環境づくりに取り組む。</p> <p>多様な意見を取り入れながら施設における事業内容の充実につなげる。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①日原地域の人口（+5人） ②日原地域におけるICT利活用やプログラミングに関する講座の参加者数（+17人） ③施設の利用者数（+8,500人） ④日原中学校から津和野高等学校への進学率（+44.7%） ⑤民間事業者が実施するデジタル技術を活用した健康づくり講座の開催数（+36回） ⑥ワーキングスペース利用者数（+100人）

事業概要【人の還流による「滞在人口」創造事業】

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	454,300千円 (125,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	若者を中心とした滞在人口の創出による人材還流を促進し、結果的な移住選択者の獲得により人口増を目指す。						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>「大人の島留学（短期・中期）」事業の実施（委託料）：11,880千円 大人の島留学制度を更に価値ある事業化するためのコースの新設（委託料）：32,500千円 バーチャル島留学アプリの開発（委託料）：15,000千円 「地域共創科」創設による「島留学（高校生）」の更なる魅力化と受入規模拡大（委託料）：21,120千円 「保育島留学（保育園）」の実施（委託料）：11,000千円 滞在者還流の仕組みづくり（委託料）：12,800千円 地域の働く場の魅力化事業の実施（委託料）：1,200千円 滞在人口と関係人口向けワークシェアプラットフォーム「sharework」の開発（委託料）：20,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	島前3町村の連携を図りながら、大人の島留學生の受入数の拡大を目指す。また、地域企業とも連携し、働く職場の魅力化支援や、企業や社会人向けの人材育成プログラムを提供しながら事業を推進する。さらには、事業を通して島外との企業連携を進めていく中で、新たな知見及び企業版ふるさと納税の獲得を目指す。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①事業を通じて滞在した者の内、滞在期間終了後に移住・定住した人口数（+67人）</p> <p>②事業を通じた年間の滞在人口数（+210人）</p> <p>③事業を通じた教育機関、自治体連携機関数（+16団体）</p>

【産業維持・活性化デジタルプラットフォームの構築と活用等による地域産業の継業・創業促進事業】

申請者	島根県海士町	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	316,667千円（50,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用して地域内外の人材・知識をつなぐ仕組みをつくと共に、外部の人材が島に訪れやすくする環境を整備する事で、事業経営・専門スキルの継承の促進を図る 地域内電子通貨を導入し、同時に地域の消費ニーズを可視化することで、域内消費の市場縮小の抑止を図る 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>外部人材を招きやすくするための環境整備：19,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業企画・オペレーション検討（サービス内容検討、価格検討、オペレーションフロー検討等） ➢ 要件定義（ソリューション選定、機能、データ定義等） ➢ 開発・テスト <p>システム運用保守：19,910千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ システム運用保守・継続改善作業 ➢ 地域電子通貨ソリューション利用料、決済手数料 ➢ クラウド運用 <p>普及促進活動：10,290千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 個別サービスに関する住民・事業者などに向けた説明会実施、相談対応、サポート等 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 町内事業所における継業・創業件数（+12件） ② 町内事業所への働き手の増加数（+27人） ③ 町内事業所の事業開始前との年間売上対比における経年のポイント増加数の平均（+6.0ポイント）		関連 URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【海士町ブランドのD2C化から繋げる人材還流促進事業】

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	299,900千円 (118,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	関係人口に「海士町オフィシャルアンバサダー」に登録してもらうことで、関係人口の可視化とまちづくりへの参画を促しながら、来島促進を図ることで、結果的な移住定住者の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海士町関係人口の多角的潜在価値リサーチ事業（委託料）57,500千円 デジタル実装に関する業務（委託料）55,000千円 都市部（東京・大阪）における海士町ブランドのコンセプトショップの展開（委託料）5,500千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>関係人口の拡大を図る「海士町オフィシャルアンバサダー」制度の仕組みづくりや改善などを行うために、島内外の関連企業や連携自治体及び大学、地元銀行、メディア、住民など、多様な主体が参画。定期的な意見交換の場を設けながら意見を集約し、事業への反映や情報発信にもつなげていく。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域へのUIターン数（+31人） ②海士町オフィシャルアンバサダー登録者数（+700人） ③海士町オフィシャルアンバサダーカードを通じた紹介者のうち実際に来島した人の数（+520人） ④海士町オフィシャル法人アンバサダー制度加入数（企業または団体など）（+10団体）</p>

事業概要【高度観光人材の育成を核とした持続可能な観光地域づくり事業】

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	429,400千円 (123,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> 高度観光人材の育成を軸に、観光産業の収益多様化と持続可能な成長を実現することを目的とする。 官民協働・地域間連携を強化し、観光収益を地域の自然・文化資源の保全・再投資につなげる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高度観光人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・企画開発及び実施、効果測定(委託料) 61,000千円 ・広報及びブランディング(委託料) 4,000千円 ・人材候補者の採用広報等(委託料) 5,800千円 ○デジタル地域通貨とデータ収集基盤の整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル地域通貨等を用いたデータ分析及び活用(委託料) 8,000千円 ・観光客への普及啓発(委託料) 2,000千円 ○ジオパーク観光の魅力化のための多様な生態系の創出事業と観光商品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・経済成分調査・分析(委託料) 3,000千円 ・ジオパーク観光の魅力につながる海洋環境整備(委託料) 40,000千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	地域の観光振興において、商工会や観光協会、行政、学校、金融機関、住民、メディアなど多様な主体が連携。各分野の強みを活かし、会議等で進捗確認や意見交換を行い、持続可能な観光地域づくりを推進している。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①年間観光消費額(+3億円) ②高度観光人材育成数(+30人) ③観光関連の労働生産性(一人あたり)(+1,900千円) ④離島ならではの文化・環境を主とした新規観光商品の商品開発数(+5件)

事業概要【離島発、企業の新たな拠点づくり事業】

申請者	島根県海士町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	198,000千円 (66,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域の事業者と都市部の企業との連携・提携を推進することで、ノウハウの継承や都市部の企業が持つリソースの活用により、地域外の仕事を取り込み、外貨を稼ぐ事業者を増やすことを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>事業実施の土台となる「仕事」「暮らし」「生活」の具体化に向けた調査・ヒアリング実施：27,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内事業者が抱える課題と企業のスキルを踏まえた具体的な「仕事」 企業と地域住民との交流の姿「生活」 企業の滞在場所（宿、民泊など）「暮らし」 <p>「生活」「暮らし」における受入体制・コンテンツの整備：8,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 受入体制づくり 各種コンテンツ企画、運営 <p>普及促進活動：9,900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の呼び込みに向けた情報発信・プロモーション 情報発信PFづくり <p>実証調査：6,600千円</p> <p>企業コーディネーター育成：13,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業受入をサポートする企業コーディネーターの各種スキル（企画、運営、交渉など）の向上 						
地域の多様な 主体の参画	都市部企業と地域の事業者とのマッチングを促進し、企業の拠点を整備するために、商工会、第三セクター、民間事業者等との連携を強化します。また、企業の人材と地域住民との交流を生み出すことで、拠点づくりの魅力を創出します。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における経済波及効果（27,000千円）</p> <p>②本事業を通じて海士町に地域拠点を設置した都市部企業の数（+9事業所）</p> <p>③本事業を通じてお試しワーケーションを実施した都市部企業の数（+15事業所）</p> <p>④本事業を通じて海士町での地域拠点づくりに関心を持った都市部企業の数（+30事業所）</p>

事業概要【西ノ島町人材確保育成事業】

申請者	島根県西ノ島町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	24,879千円 (7,413千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 人材マッチングサービスの活用による産業体験の受入により関係人口の増加を図る。 事業承継マッチングシステムの構築による移住者の安定した定住を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 人材マッチングサービスの活用により、島外人材の島内事業所での短期就業を通じた産業体験を実施する。また、事業承継マッチングシステムの構築により、産業の担い手確保・育成につなげる。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○人材確保育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材マッチングサービス活用（利用料）1,188千円 研修会運営（委託料）945千円 事業承継説明会運営（委託料）5,280千円 					<p style="text-align: center;">西ノ島町人材確保育成事業</p> <p>【入口対策】 人材マッチングサービスの活用 旅・移住・まちづくりに関心の高い島外人材をターゲットに産業体験の受入</p> <p>【就業体験】 事業者ごとの専門スキルの習得</p> <p>【研修会】 幅広い産業・文化等の学習 島民との交流</p> <p>【出口対策】 事業承継マッチングシステムの構築 起業による定住促進につなげるため、既存事業者と定住希望者のマッチングシステムの構築</p> <p>島外人材 → 就業体験・研修会 → 事業承継による初期投資を抑えた起業により定住</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>西ノ島町観光協会、西ノ島町商工会、島前町村組合等と連携することで、島内の主要な産業分野における人材確保・育成を促進する。</p> <p>また、地域おこし協力隊員、西ノ島町雇用確保協議会（仮称）との連携により、産業体験終了者のスムーズな定住支援施策の活用につなげることで、本取組の効果の最大化を図る。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域への移住者数（+45人） ②産業体験参加者からの移住者数（+1人） ③産業体験参加者の事業承継数（+1人） ④産業体験参加者数（+21人） ⑤島外人材のポートフォリオ作成者数（+21人）

事業概要【環境×教育×観光による持続可能な地域づくりプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	島根県隠岐の島町ほか4自治体	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	88,230千円 (29,010千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携DMO（一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構）を中心として持続可能な地域社会の実現を図る ・DMO組織マネジメント体制強化により、高度な観光地経営を図る ・地域OTA事業の拡大により、観光属性データの取得及びDMOの収益源確保を図る ・データマーケティングに基づいた効果的効率的な情報発信により、国内外からの誘客を図る 			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 島根県隠岐地域ではDMOを中心として、いわゆる「観光」業のみによる地域経済の活性化だけでなく、ジオパークの理念による「環境」の保全・保護及び「教育」の発展に対する活動を行っている。本交付金を活用し「環境×教育×観光」による取り組みを推進し、「持続可能な地域社会の実現」を目指す。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マネジメント体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント専門人材確保 4,010千円 ○DMOの人事・人材開発に係る委託経費 4,000千円 ○ツーリズム事業の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・地域版OTAへの流入促進に係る経費 7,000千円 ○効果的効率的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・to Bプロモーション 4,000千円 ・to Cプロモーション 10,000千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+992百万円） ②観光客数（+10,205人） ③地域OTAへの参画事業者数（+66施設/体験） ④DMOの定職率（+20%） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） 令和7年6月公表予定 （効果検証） 令和7年6月公表予定</p>

事業概要【地域産業・交流イノベーション・ハブ整備事業】

申請者	島根県隠岐の島町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	369,000千円 (18,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	地域産業と交流のイノベーションハブとなる、商業と多世代交流の機能合築施設を整備し、官民連携による運営を通じ、隠岐の島町の基幹産業である農林畜水産業当事者だけではなく、子どもたち、教育機関、福祉施設、物流事業者、新規従事希望者などの多様な関係者の共創により、地場製品の付加価値を高め、具体的な商流構築と生産持続性の確保につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 賑わいづくりや観光交流に資する官民連携による施設整備及び地域の高校生等と連携した商品開発事業等を行い、隠岐の島町の海の玄関口である西郷港周辺地域の活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○高等学校等との連携による商品開発とPRプロジェクト ・プロジェクトマネジメント人件費：1,000千円 ・業務委託費（市場調査・商品開発事業計画業務）：1,000千円 ○子どもたちによるデジタル技術を活用したまちづくり支援プロジェクト ・プロジェクトマネジメント人件費：1,500千円 ・PLATEUシステム構築業務委託費：1,500千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・交流・民間商業施設の実施設設計業務委託費 10,000千円</p> <p>【効果促進事業（ソフト事業）】 ・地場産品を活用した商品企画開発業務委託費 3,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域内の高等学校等の生徒が探究学、島留学、実業高校の実習の一環として、隠岐の島のサプライチェーンや商流を学びながら、商品開発やサービス提供を実践的に学ぶとともに、デジタルによるエリア全体の活性化に貢献する。</p> <p>地域内の事業者、住民の立場から拠点整備と事業運営による活性化に関する実感を共有し、事業のブラッシュアップにつなげる。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①エリア内の空き店舗・空き家率（▲0.6%） ②町で水揚げされた水産物の島内流通量（+33トン） ③産官学の連携プロジェクト・新規商品（+18件） ④園芸品目の産出額（+8.0%） ⑤地域内来訪者の1人あたり観光消費額（+8千円） ⑥地域内のティアップ事業者（+10者）</p>